

モニタリング結果報告書

施設 藤野芸術の家
指定管理者 (社)神奈川県青少年協会
施設所管課 県民部青少年課

(平成 21 年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月 8日	5月 19日	改善すべき業務等なし
5月	6月 10日	6月 15日	改善すべき業務等なし
6月	7月 10日	7月 17日	改善すべき業務等なし
7月	8月 10日	8月 19日	改善すべき業務等なし
8月	9月 8日	9月 16日	改善すべき業務等なし
9月	10月 9日	10月 19日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

< 提案内容の概要 >

当該施設は、旧藤野町の「藤野ふるさと芸術村構想」で、芸術村の拠点施設として施策が展開されてきた経緯もあり、地域との連携は欠かせない要素であることから、地域イベントへの参加や地域芸術家との連携など、協力体制を構築していく。

< 実施状況 >

地域イベントへの参加

- ・ブース設置による施設紹介や作品販売等

5月 藤野ぐるっと陶器市 2009

8月 あじさいメイツフェスティバル

地域芸術家との連携(通年)

- ・地域芸術家の活動紹介コーナーの設置
地域の芸術家の個展情報や地域の各施設の紹介
- ・地域芸術家の芸術小品販売(288件)
地域の芸術家の手作り作品の販売

その他

- ・地域特産物(竹の子・さつまいも堀り)の紹介など
地域農家の収穫体験のチラシの設置及び紹介
- ・地域音楽関係団体との共催事業
地域のドラムサークル団体と共催のイベント
- ・自然体験・虫取り
地域の方と協力し、子供向けのカブトムシやクワガタなどの虫取り体験を実施

上記の取組みにより、地域芸術家や住民、団体、施設等と連携を図り協力関係を築くことで、地域振興に寄与するとともに、施設のPRや事業内容の充実に繋がっている。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額	
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	189,600	136,062	36,000	17,538	189,600	0
上半期計 (a)	90,515	58,485	21,047 (21,721)	10,983	71,602	18,913
4月	9,165	5,355	2,721 (3,525)	1,088	2,846	6,319
5月	13,309	8,800	2,698 (2,929)	1,811	9,868	3,441
6月	20,034	16,520	2,347 (2,481)	1,67	16,856	3,177
7月	16,574	9,830	4,911 (5,093)	1,832	13,814	2,759
8月	17,723	8,920	5,210 (4,302)	3,592	13,920	3,802
9月	13,708	9,060	3,158 (3,390)	1,490	14,296	△587
合計 (a+b)	90,515	58,485	21,047 (21,721)	10,983	71,602	18,913

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

下半期における光熱水費の支出増等に備え、維持運営費について支出抑制等をはかったため。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

特になし

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	62,628 人	64,773 人	△3.3%
4月	6,190 人	5,939 人	4.2%
5月	11,665 人	8,769 人	33.0%
6月	6,059 人	7,806 人	△22.4%
7月	12,826 人	11,635 人	10.2%
8月	18,077 人	23,014 人	△21.5%
9月	7,811 人	7,610 人	2.6%
合計 (a+b)	62,628 人	64,773 人	△3.3%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

〔 〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月					9	9
5月					18	18
6月					1	1
7月					19	19
8月					15	15
9月					3	3

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			0
5月			0
6月			0
7月			0
8月			0
9月			0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	特筆すべきものなし	
職員対応	特筆すべきものなし	
事業内容	特筆すべきものなし	
その他	特筆すべきものなし	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

特になし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
8月31日	青少年協会： 副館長 他職員3名 青少年課： 職員2名	管理物品の保管状況等、 総務・経理関係について モニタリングを実施	各項目とも特に問題はなく適正に 処理されており、概ね良好であっ た。

9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理、運営、事業の実施に関する業務につき計画通り実施した。 収支については、経費の効率的で適正な執行に努め、概ね計画どおりである。 利用者数については新型インフルエンザの影響等で若干減少が見られたが、ゴールデンウィークの「子どもまつり（こどものためのオペラミニコンサート等）」や夏休み限定の工房メニュー（夏休み木の工作セット作り、ガラスオーシャンフォトフレーム作り）等、季節に応じたプログラムを実施し、多くの参加者があった。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務を概ね着実に推進している。 収支状況については概ね順調である。 地域イベントでのパンフレット配布や近隣地域でのポスタリング活動等、広報にも力を入れ、利用者確保に努めている。 利用者数や利用料金収入が、新型インフルエンザの影響等で前年同期より若干減少している。冬季のインフルエンザ流行期に向け、引続き館内予防対策をとるとともに、利用者に好評な、工房の期間限定メニューや音楽体験講座など、魅力あるプログラムの実施により、利用者増加へ向けた取組みを更に行う必要がある。